

能村登四郎 その水脈

市川を代表する俳人・能村登四郎は、昭和一三年、開校間もない旧制市川中学校（市川学園）の国語教師として奉職以来、平成一三年五月に没するまでの六三年間を、市川市八幡で暮らしました。

教師のかたわら俳人としての活動も活発で、生涯に一四冊の句集を刊行し、六〇〇〇余句を世に発表しました。現代俳句協会賞や蛇笏賞など俳句の芥川賞と言われる最高峰の賞もほとんど総なめするなど、その評価も輝かしいものがあります。

平成二三年一月に生誕一〇〇年を、平成二二年一〇月に主宰誌「沖」の創刊四〇周年を迎えます。

市川の俳壇のみならず、今日の俳句界に大きな水脈をもたらした、その生涯と作品世界を、林翔・伊藤白潮をはじめとする市川の俳人とともに紹介し、果たした役割を展望します。

目次

能村登四郎の人と作品……………2

幼少期から学生時代

戦争期・教員時代

草創期 「咀嚼音」時代

草創期 「合掌部落」時代

冬の時代 「枯野の沖」時代1

円熟期へ 「枯野の沖」時代2

第一円熟期 「沖」創刊

第二円熟期 「冬の音楽」から「天上華」まで

第二円熟期 「寒九」から「長嘯」まで

晩年期 「易水」から「羽化」まで

影響を受けた人……………14

山本六丁子・水原秋櫻子

石田波郷・大野林火

俳句のライバル……………16

藤田湘子・沢木欣一

金子兜太・森澄雄

登四郎作品のひろがり……………18

歌舞伎好きの江戸っ子

表現の場としての随筆・評論

旅と自己変革

NHKでの活躍・登四郎語録

校歌の作詞

登四郎山脈……………24

福永耕二

高瀬哲夫・三浦青杉子・今泉宇涯

久保田博・坂巻純子・北村仁子

洲上千津・松村武雄・渡辺昭

「沖」から独立した弟子たち……………28

今瀬剛一・鈴木鷹夫

中嶋秀子・大牧広

「沖」から育った若手作家……………30

能村研三

正木ゆづ子・中原道夫・荒井千佐代・辻美奈子

登四郎を評する人々……………32

山本健吉・飯田龍太・宗左近

眞鍋呉夫・百瀬博教・岩田正

市川の俳人たち……………34

林翔

伊藤白潮

伊藤白潮ゆかりの市川の俳人

岸風三樓・阿部晋人

柴田白葉女・高橋謙次郎

能村登四郎・林翔・伊藤白潮句碑マップ……………44

能村登四郎・林翔・伊藤白潮略年譜……………46

企画展概要・協力者一覧・凡例……………48